

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回東松山市文化財保護委員会議					
開 催 日 時	令和5年10月23日（月）			開 会	午前10時00分	
				閉 会	午前11時40分	
開 催 場 所	東松山市総合会館3階 302会議室					
会 議 次 第	開会 あいさつ 1. 議題 （1）令和5年度事業進捗状況について （2）令和6年度事業計画（案）について 2. 報告 3. その他 閉会					
公開・非公開の別	公開	傍 聴 者 数		0人		
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	委員長	小澤 謙一	出席	委 員	栗原 直子	出席
	副委員長	小澤 弘	出席	委 員	林 龍生	欠席
	委 員	荒井 豊	出席	委 員	柳 正博	出席
	委 員	内田 博	出席			
事 務 局	柳沢 知孝 生涯学習部長			近江 哲 埋蔵文化財センター主任		
	田島 信子 生涯学習部次長			矢口 翔馬 埋蔵文化財センター主任		
	佐藤 幸恵 埋蔵文化財センター所長					

次 第	顛	末
開 会	佐藤所長	
あいさつ	柳沢知孝生涯学習部長 小澤謙一委員長	
会議の公開、 会議録署名 委員の指名	○会議の公開、傍聴人、会議録署名委員の指名について (佐藤所長) 会議を公開とするか非公開とするか、傍聴人の申込みがなかったこと、会議録の署名委員を指名することについて、説明。 ・会議については公開、傍聴人は申込がなかった。会議録署名委員は荒井委員と栗原委員を指名することについて、全員了承。	
1. 議 題	<p>(1) 令和5年度事業進捗状況について</p> <p>●文化財啓発事業</p> <p>(矢口主任) 説明。</p> <p>(柳委員) 民俗芸能祭に関連して、野田の獅子舞やたこつき唄の動静はどうか。近年は獅子舞なども他の団体・地区から応援を頼むこともあるようで、継続のためにはそういった助け合いが必要になってきている。また後継者育成のためには学校教育との連携も必要と考えるが。</p> <p>(佐藤所長) 野田の獅子舞とたこつき唄については、腰痛などの体調不良から、開催ができていない状況。ただ東松山市民俗芸能保存連絡協議会の事業には積極的に参加して取り組んでおり、野田獅子舞保存会の会長は、「みんなが頑張ってるんだから我々も頑張らないと」という意識をもって事業に取り組んでくれている。</p> <p>(小澤謙一委員長) 西本宿の獅子舞の動静はどうか。</p> <p>(佐藤所長) 数年前に休止している。西本宿の獅子舞については保存会形式をとっておらず、文化財指定も東松山市民俗芸能保存連絡協議会への加盟も断られてしまってきた現状がある。</p> <p>●文化財保存事業</p> <p>(矢口主任) 説明。</p> <p>(小澤謙一委員長) 大谷瓦窯跡市有地の樹木伐採について、ここにはカタクリが生育していると思うが、カタクリへの影響は。</p> <p>(矢口主任) カタクリについては、西本宿にある東松山市指定天然記念物「カタクリの群生地」から移植したもので、例年順調に生育している。今回の伐採がどのように影響するかはわからないが、大谷瓦窯跡市有地内の危険木伐採はここ数年継続して実施しており、カタクリへの影響は見られ</p>	

	<p>ないことから、問題はないと考えている。いずれにせよ開花時期に経過観察を続ける。</p> <p>● 文化財調査事業 (矢口主任) 説明。 質問なし。</p> <p>● 埋蔵文化財センター運営事業 (矢口主任) 説明。 質問なし。</p> <p>(1) 令和6年度事業計画(案)について (矢口主任) 説明。 (柳委員) 民俗芸能大会については小鹿野町での事例が参考になる。小鹿野町では郷土芸能祭を例年実施しており、歌舞伎や神楽などのほか、模擬店を出すなど盛大に行われている。 (栗原委員) こういったイベントはホールだけでなく外に繰り出してやっていることを知らしめることも大切で、興味関心を引き付けることにつながる。また小中学生を招待することも大切で、自分の地元でそういったものがあると認知してもらい、いいきっかけになる。 (柳委員) 民俗芸能の継承のためには披露する機会を設けることが大切で、モチベーションの向上につながる。またほかの地域の協議会との連携も重要で、情報収集、意見交換、参加者増などの効果が期待できる。 (小澤謙一委員長) 過去文化センターで開催したこともあったが、その際は各団体に協力してもらって、地区ごとに何人、といった割り当てを設けて参加してもらったこともある。 (矢口主任) ご意見踏まえ、事業内容を検討していく。</p>
<p>2. 報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県指定文化財「箭弓稲荷神社社殿付棟札二枚」について ○東松山市指定文化財「正法寺の中世文書」について ○東松山市指定史跡「三千塚古墳群」について ○東松山市指定史跡「桜山窯跡群」について ○東松山市文化財保存活用地域計画について ○令和6年6月市議会一般質問について ○東松山市社寺建築悉皆調査報告書について <p>(矢口主任・近江主任) 説明。 (小澤謙一委員長) 正法寺の中世文書の調査については、時代としては</p>

どの範囲まで行ったのか。

(矢口主任) 中世文書と言っているが、実際には中世から現代までの古文書すべてを再整理、目録化している。

(栗原委員) 今後この調査成果については公開するのか。

(矢口主任) 古文書は必ずしもいい内容のものばかりとは限らず、争いの訴状や個人のプライバシーにかかわるものまで含んでいる。そのため公開は考えていない。

(小澤弘副委員長) それでよいと思う。特に近現代の資料は存命の方まで結びついてしまう場合もあるため、あるところでは公開は明治初年までと明確に区切っているところもあるくらいで、公開には慎重を期す必要がある。

(矢口主任) 目録の公開は考えていないが、歴史的事実に変わりはない。この古文書を後世にまで守り繋いでいくために目録は活用していきたい。また目録そのものでなくても、指定文化財になっている中世文書などは公開して差し支えないものなので、そういったものについては目録を参考に公開していく活用方法もあると考えている。

(柳委員) 保護委員会における東松山市文化財保存活用地域計画の内容確認についてはどのように進めるのか。この計画は地域にとって文化財が目指す方向性を統一する大変重要なもので、丁寧な意見聴取が必要。

(矢口主任) パブリックコメントの聴取等も準備を進めている。また保護委員会の意見聴取が必要となるが、いきなり次回会議で計画書を渡してもなかなか見ていただく時間もないと思ったので、本日は原稿の素案ではあるが配布させていただいた。内容等ご確認いただき、何かあれば事務局まで知らせてほしい。

(小澤弘副委員長) 東松山市社寺建築悉皆調査報告書については建築の調査報告でありながら絵馬や石造物などの付帯的な情報がまとめられていて、市内の社寺を理解するうえで貴重な成果といえる。絵馬や石造物などの一覧表については、ナンバーに大きな意味がないのであればむしろ造立年順に並べたほうが見やすい。また表の体裁のうち、文字間・行間についてはもう少し整理したほうが見やすいと思う。都度直すというよりも全体が出来上がった後にまとめて修正する方が効率的。

(柳委員) 神社や寺に関連する民俗行事等ほどの程度記載するのか。

(近江主任) 年中行事として記載のほか、獅子舞などの行事が現在も行われている場所については記載する。ただ報告書の主旨上、かつて奉納されていた民俗行事にまでさかのぼって追認して記載する事は難しいと考えている。

(柳沢部長) 難しい漢字などにルビを振ることについて、委員の皆さん

